



新潟県の経済動向

平成21年3月13日

県内経済の概況(12月～2月)

県内経済は、急速な悪化が続いている。

- ・ 個人消費は、一段と弱まっている。
- ・ 住宅投資は、前年を下回った。
- ・ 設備投資は、弱い動きとなっている。
- ・ 公共投資は、減少している。
- ・ 鉱工業生産は、減産幅がさらに拡大している。
- ・ 雇用面は、引き続き悪化している。
- ・ 企業収益、景況感は大幅に悪化している。

県内景気動向指数(12月)は、先行指数、一致指数ともに5か月連続で50%を下回った。

【参考】国内経済の動向

景気は、急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。

- ・ 輸出、生産は、極めて大幅に減少している。
- ・ 企業収益は、大幅に減少している。設備投資は、減少している。
- ・ 雇用情勢は、急速に悪化しつつある。
- ・ 個人消費は、緩やかに減少している。

先行きについては、当面、悪化が続くとみられ、急速な減産の動きなどが雇用の大幅な調整につながる懸念される。加えて、世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の変動の影響など、景気をさらに下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。

(内閣府「月例経済報告」平成21年2月19日)

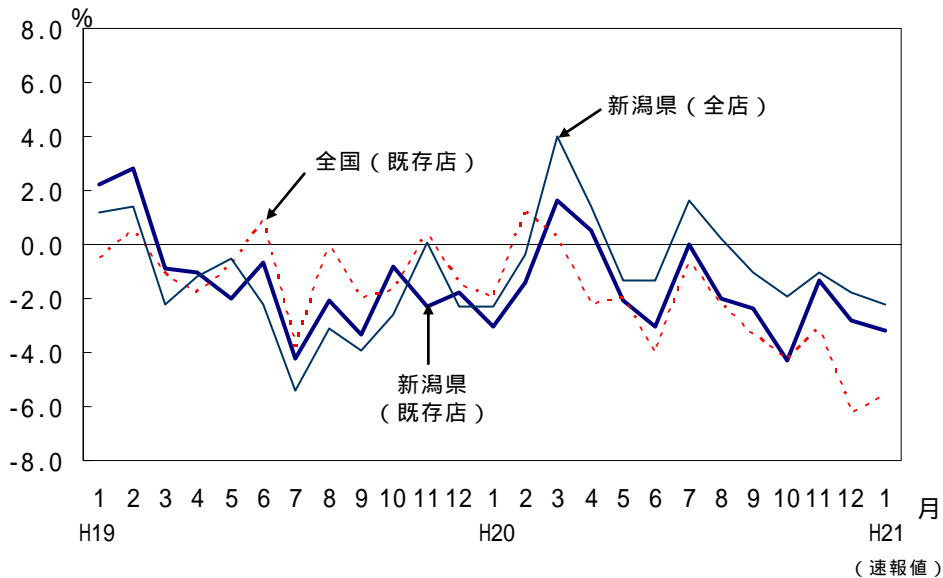
新潟県総務管理部統計課
担当：調査解析班 高橋、山口
電話：025-280-5901
ngt010190@pref.niigata.lg.jp

1 個人消費・物価 ～一段と弱まっている～

大型小売店販売額は、12月確報値では総販売額が約324億円となり、前年同月比1.8%減と4か月連続で前年を下回り、既存店では同2.8%減と8か月連続で前年を下回った。

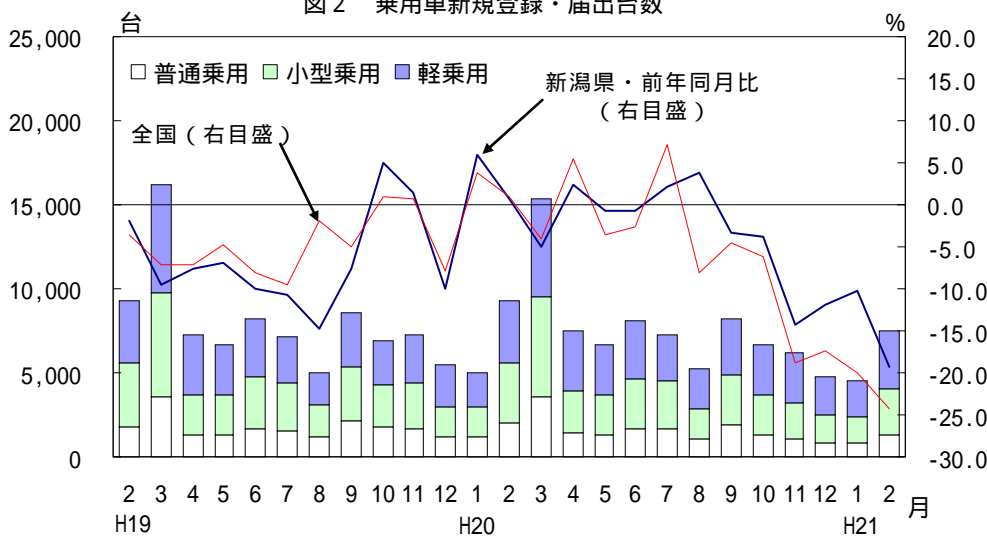
なお、1月速報値は総販売額が約288億円となり、前年同月比2.2%減、既存店では同3.2%減となっている。(図1)

図1 大型小売店販売額前年同月比



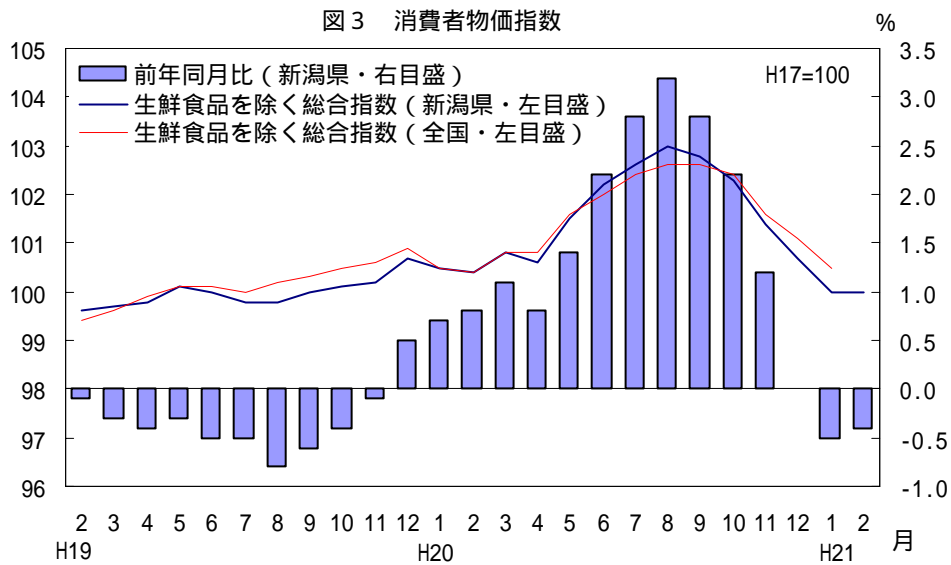
乗用車(含む軽)新規登録・届出台数 2月 は、前年同月比19.4%減と6か月連続で前年を下回った。車種別では、普通乗用が同34.9%減、小型乗用が同24.4%減、軽乗用が6.1%減となった。(図2)

図2 乗用車新規登録・届出台数



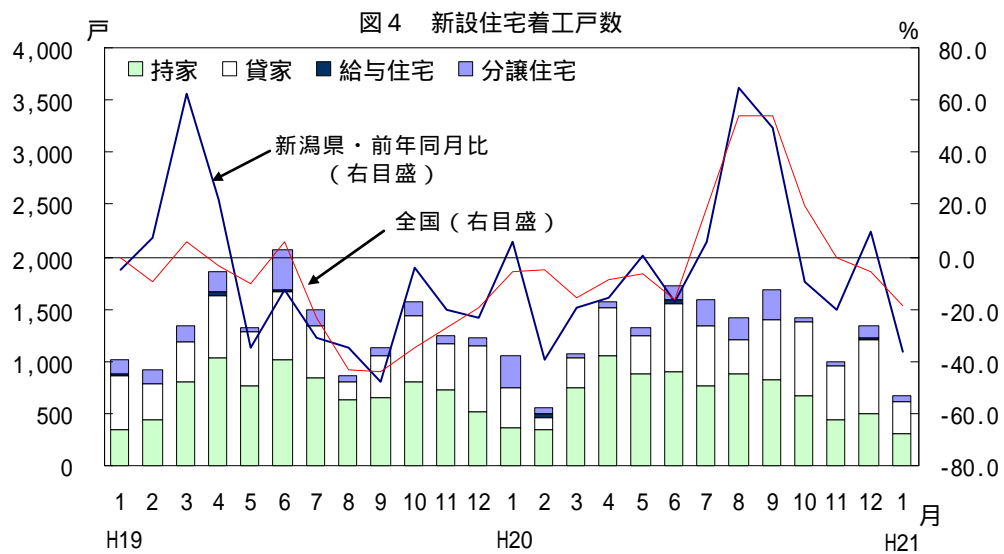
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線は前年同月比で右目盛

消費者物価指数 2月（生鮮食品を除く総合）は100.0となり、前年同月比0.4%減と2か月連続で前年を下回った。費目別では、自動車等関係費、他の光熱などが下落し、電気代などが上昇した。（図3）



2 住宅投資 ～前年を下回った～

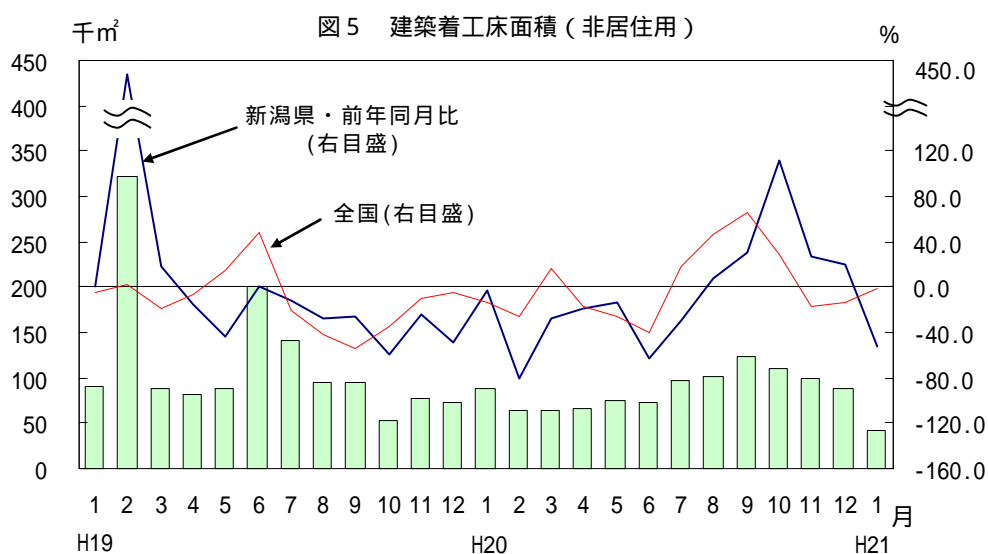
新設住宅着工戸数 1月 は、前年同月比36.3%減と2か月ぶりに前年を下回った。利用関係別でみると持家、貸家、分譲が減少した。（図4）



注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線は前年同月比で右目盛

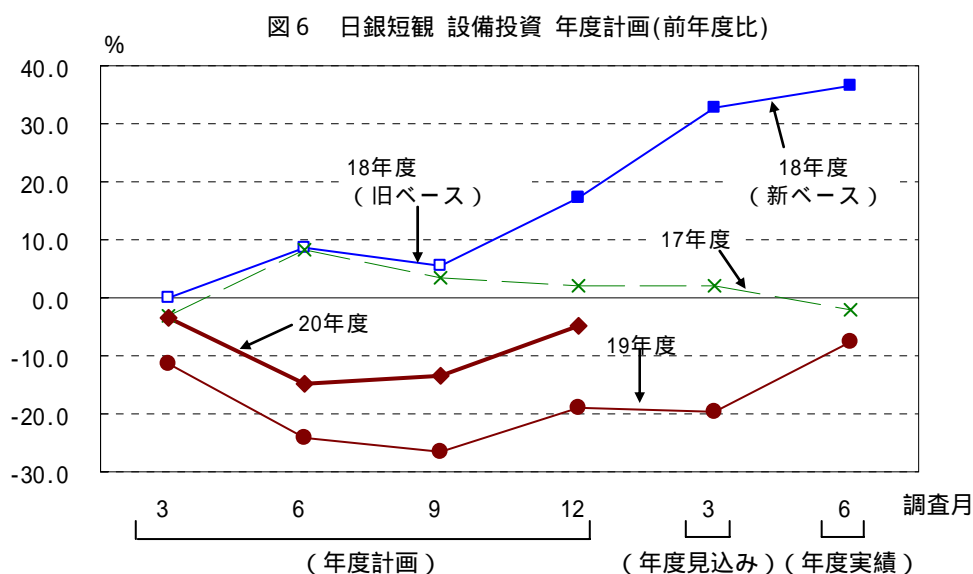
3 設備投資 ～弱い動き～

建築着工床面積 1月（非居住用）は、前年同月比52.6%減と6か月ぶりに前年を下回った。（図5）



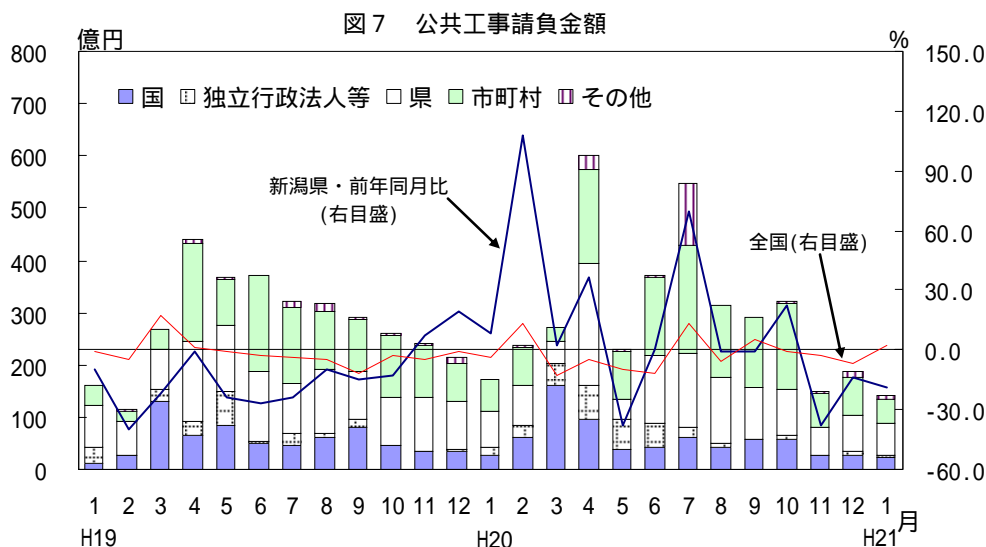
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線は前年同月比で右目盛

企業の設備投資額（日銀短観<12月調査>）をみると、20年度は、非製造業では前年度を上回る計画であるが、製造業で前年度を下回る計画であり、全産業では前年度比4.7%減の見通しとなっている。（図6）



4 公共投資 ～減少している～

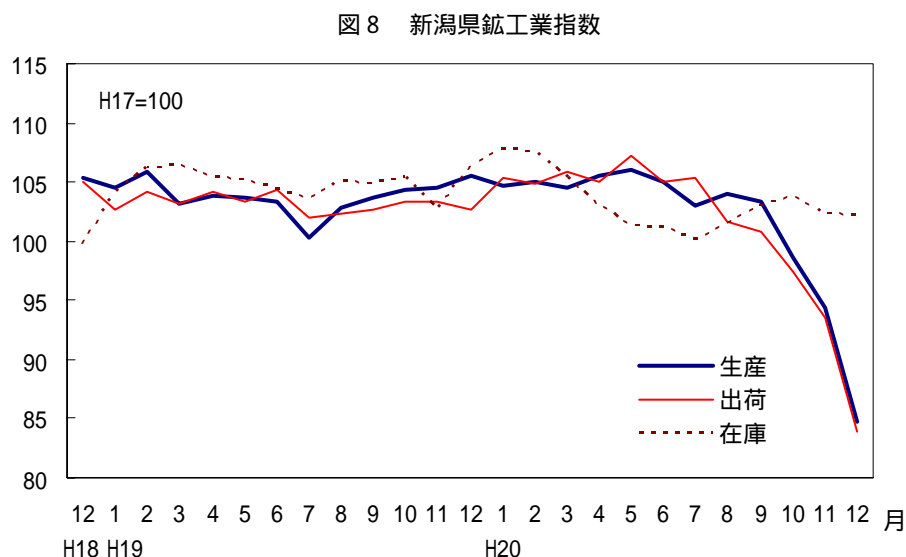
公共工事請負金額 1月 は、前年同月比19.0%減と3か月連続で前年を下回った。発注者別では、国、独立行政法人等、県、市町村が前年を下回った。(図7)



注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線は前年同月比で右目盛

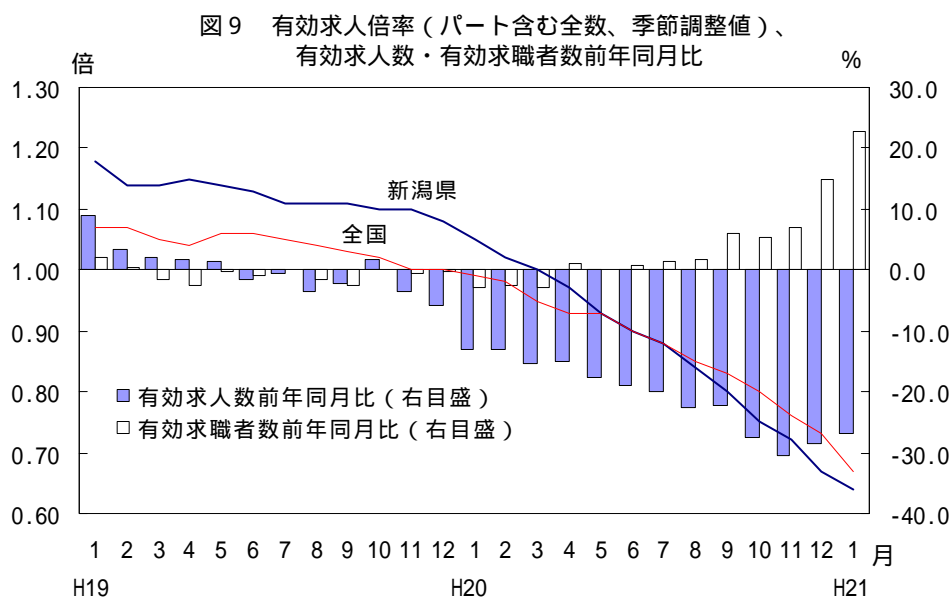
5 生産 ～減産幅がさらに拡大している～

鉱工業指数 12月 は、生産指数が84.8となり、前月比で10.1%減と4か月連続で低下し、前年同月比（原指数）では17.5%減と3か月連続で前年を下回った。業種別では、全ての業種で前月から低下した。また、出荷指数は83.9となり5か月連続の低下、在庫指数は102.2となり2か月連続の低下となった。(図8)



6 雇 用 ～引き続き悪化している～

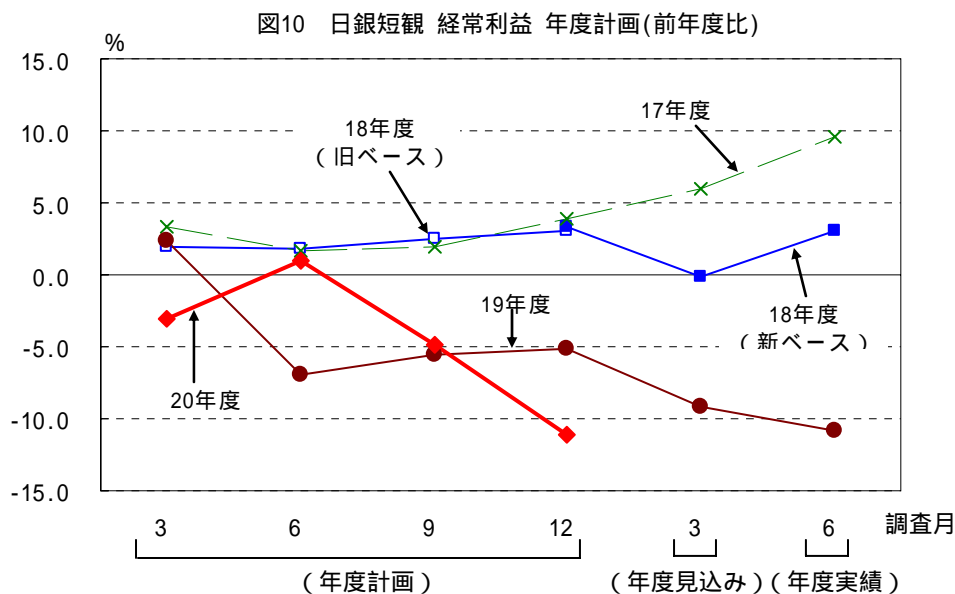
有効求人倍率 1月（パート含む全数・季節調整値）は、0.64倍と前月を0.03ポイント下回り、14か月連続の低下となった。また、有効求職者数は、前年同月比22.8%増と前年を上回り、10か月連続の増加となった。（図9）



注：棒グラフは新潟県の有効求人数・有効求職者数前年同月比で右目盛、折れ線グラフは有効求人倍率で左目盛

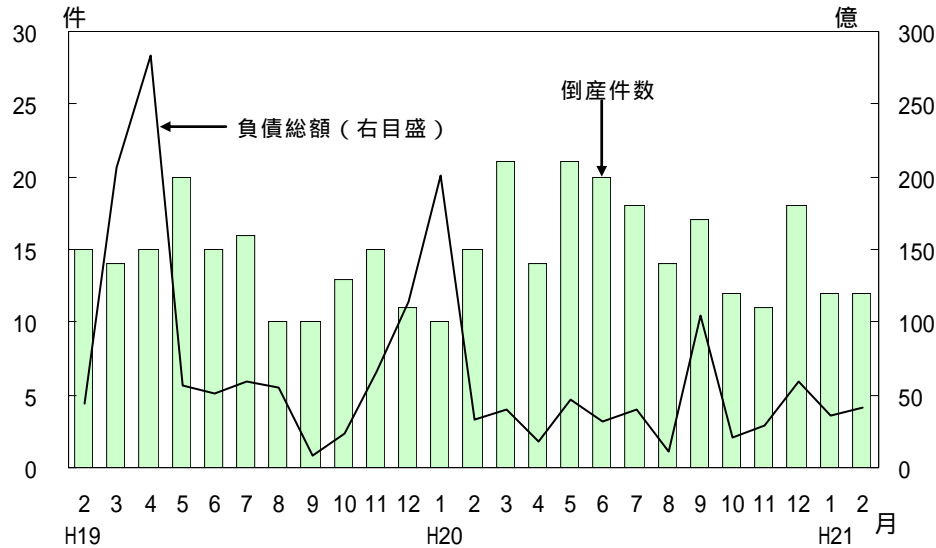
7 企業 ～企業収益、景況感は大幅に悪化している～

企業収益（日銀短観<12月調査>、経常利益）をみると、20年度は製造業が増益となるものの、非製造業が大幅に減益となることから、全産業では前年度を11.1%下回る見通しとなっている。（図10）



企業倒産 2月 は、倒産件数(負債額1,000万円以上)は12件(うち負債額10億円以上の大型倒産は1件)と前年同月を下回り、負債総額は約41億円と前年同月を上回った。(図11)

図11 企業倒産件数、負債総額



企業の景況感をみると、日銀短観<12月調査>の業況判断D.I.は、28%ポイントと前回調査から11%ポイント悪化し、中小企業業況判断D.I.<1月>(新潟県中小企業団体中央会)は、86.7%ポイントと前月から1.6%ポイント上昇した。(図12)

